

和紙を装う

2024

4/22 [月] - 8/24 [土]

創作和紙人形作家 かなやま むねこ 金山侷子の人形づくりは和紙探しから始まります。

選択眼に叶った和紙は縦横方向に揉みほぐされ柔らかく扱いやすくなるよう加工に出されます。県内外から探し求めストックされた素材と、ふと見たテレビのワンシーンによって思い浮かんだ着想が結びつき、和紙の組合せが始まることもあると作家は語ります。

ユニークな作品名の「にんぎょ一ぱあーてい」はそんな動機によって作られた作品。

美しく着飾り、三枚歯の高下駄を履いた花魁¹⁾が禿²⁾や新造³⁾、下男⁴⁾ 従えゆっくりと練り歩く場面を丁寧に表現しています。今回の展示では和装を中心に絢爛豪華で凛とした品格が漂う作品から日本の懐かしい生活習慣を捉えた作品まで作家の優しい眼差しに満ち満ちたオリエンタルな世界が広がります。

1) おいらん……江戸時代の吉原遊郭で最高に位の高い上級遊女

2) かむろ……花魁の身の回りの雑用をする女の子

3) しんぞう……女郎の一種

4) げなん……主人の身近にいて雑用をする奉公人

主催：徳島大学病院 協力：武蔵野美術大学基礎デザイン学科

監修：武蔵野美術大学 基礎デザイン学科教授・板東孝明

この作品展は武蔵野美術大学の監修により、徳島で活躍する地元作家展とさせていただきます。

Hospital
Gallery

be

ホスピタルギャラリー【ビー】
徳島大学病院 西病棟1階ロビー

